

オーケストラと歌おう 春のうたごえ

# 市川 第九

平成28年 3月27日(日)  
14:00開演(13:30開場)  
市川市文化会館 大ホール



「オーケストラと歌おう 春のうたごえ 市川・第九」にいらしていただきまして、ありがとうございます。

数多くの事業の中で、伝統のコンサートの一つが市民合唱団と市民オーケストラによる「春のうたごえ」です。今回はベートーヴェンの交響曲第九番を演奏いたしますが、この作品は合唱の方々にとって憧れの演奏会レパートリーであることは、みなさまもご存じのとおりです。

指導の先生方のもと、昨年11月より厳しい練習を重ねてきました。共演するのは伝統の市民オーケストラ市川交響楽団と第九ソロオーディションを兼ねた新人演奏家コンクール受賞の方々です。本番さながらのリハーサルを経て、その成果をみなさまに披露する日を迎えることができました。

このような「市民の手による市民のためのコンサート」を、公益財団法人市川市文化振興財団はこれからも積極的に協力し応援してまいります。

エネルギーで壮大な第九が千葉県随一の市川市文化会館大ホールに素晴らしく鳴り響くことでしょう。市川が誇る市民合唱団、フレッシュな才能あふれるソリスト、市民オーケストラの演奏を、最後までお楽しみいただき、そしてどうか温かい拍手をお贈りいただけますようお願いいたします。

公益財団法人 市川市文化振興財団

理事長 中山 忠彦

## Program

### 〈ソリストによる歌の花束〉

小寺 彩音 ヴェルディ：歌劇『シチリア島の夕べの祈り』より「ありがとう、愛する友よ」

深瀬 廉 中田 喜直：「木菟」

野田 千恵子 ビゼー：歌劇『カルメン』より「ハバネラ」

工藤 和真 プッチーニ：歌劇『トゥーランドット』より「誰も寝てはならぬ」

ピアノ伴奏／山中 麻鈴

### ルードヴィッヒ・ヴァン・ベートーヴェン

交響曲第9番 二短調 op. 125 (合唱付)

第1楽章 Allegro ma non troppo, un poco maestoso

第2楽章 Molto vivace - Presto

第3楽章 Adagio molto e cantabile - Andante maestoso

第4楽章 Presto

## 指 揮 <sup>そ が だい すけ</sup> 曾 我 大 介

東京ニューシティ管弦楽団 正指揮者



桐朋学園大学、ウィーン音楽大学等で、B.ハイティンク、G.シノーポリ、I.ムーシン、U.ラーヨビッチ、小澤征爾、田中雅彦、I.ケプテア、森正の諸氏に学び、1989年ルーマニア国立音楽院在学中にルーマニアでデビュー。

1993年ブザンソン国際指揮者コンクール第1位、1998年第4回キリル・コンドラシン国際指揮者コンクール第1位、プラハの春、トスカニーニ、ジュネーブなどのコンクールで上位入賞。以降日本はもとより、ルーマニア、イタリア、フランス、スイス、オランダ、ドイツ、ポーランド、スペイン、デンマーク、チェコ、スロヴァキア、スロヴェニア、マケドニア、ブルガリア、中国、アメリカ、ブラジルなど世界各地のオーケストラに客演を重ね、2015年6月にはベルリン・フィルハーモニーホールにおけるベルリン交響楽団ベートーヴェン「第九」公演を指揮するなど活躍を続けている。

2009年には日本ドナウ交流年企画として、5週間にわたりルーマニア各地のオーケストラに客演、聴衆と楽員に熱狂的に迎えられ、その後もジョルジュ・エネスコ・フィル、ルーマニア国立放送響、ブラショフ・フィルなどに定期的に客演、2013年にはブラショフ・フィルハーモニーホール落成記念コンサート及びシーズン開幕コンサート、ブラショフオペラのシーズン開幕公演の指揮者を務めた。

これまでにルーマニア国立放送交響楽団首席客演指揮者、大阪シンフォニカー交響楽団音楽監督などを歴任し、現在東京ニューシティ管弦楽団正指揮者、およびブラジル・ロンドリーナ音楽祭首席指揮者。日本で最も若い音楽監督として活躍した大阪在任中は「関西音楽界に新風を吹き込んだ」と高評価を得、同団初の海外公演を成功に導いた。

ブラジル・ロンドリーナ音楽祭を始めとする各地音楽祭出演や、講習会の講師、コンクールの審査員、また近年は作曲家としても活躍し、その作品は日本をはじめ、イタリア、ルーマニア、アメリカ、ブラジルなどで演奏されている。

2012年9月には、音楽之友社の『歌う人のための《第九》合唱譜』出版にあたり、豊富な演奏経験を生かして監修を務め、2013年7月に『《第九》虎の巻 歌う人・弾く人・聴く人のためのガイドブック』を同社から出版。最新刊は2016年3月に技術評論社から発売された「聴きたい曲が見つかる！クラシック入門～毎日が満たされるシーン別名曲（CD付）」。

デルタ・クラシックスより、東京ニューシティ管弦楽団との「チャイコフスキー：悲愴交響曲／ロメオとジュリエット（原典版）」(DCCA-0024)及び「カリンニコフ：交響曲第1番・第2番」(DCCA-0042)がリリース中。

ルーマニア・ブラショフ市とブラジル・ロンドリーナ市より、同地での長年の活動に対して名誉市民の称号が贈られている。

オフィシャルホームページ [www.soga.jp/](http://www.soga.jp/)

ソプラノ <sup>こ</sup> <sup>で</sup> <sup>ら</sup> <sup>あ</sup> <sup>や</sup> <sup>ね</sup>  
小寺 彩音



1990年 青森県八戸市出身  
2006年 私立八戸聖ウルスラ学院高等学校 音楽科 入学  
2009年 私立八戸聖ウルスラ学院高等学校 音楽科 卒業  
2010年 東京藝術大学 音楽学部 声楽科 入学  
2014年 東京藝術大学 音楽学部 声楽科 卒業  
声楽家6人でのグループ、ピアノとフルートとソプラノのトリオ、ソプラノ2名のデュオなどを結成し、積極的に演奏活動を行っている。  
これまでに声楽を、大川みほ、川上洋司の各氏に師事。  
現在、島村楽器 声楽科講師。



メゾソプラノ <sup>の</sup> <sup>だ</sup> <sup>ち</sup> <sup>え</sup> <sup>こ</sup>  
野田 千恵子



山梨県出身。武蔵野音楽大学卒業、同大学院前期博士課程修了。二期会オペラ研修所第58期マスタークラス修了。市川市文化振興財団第28回新人演奏家コンクール 優秀賞受賞。これまでにオペラ「コシ・ファン・トゥッテ」ドラベツラ役、「秘密の結婚」フィダールマ役、東京室内歌劇場「あまんじゃくとうりこひめ」あまんじゃく役、ミュージカル「サウンド・オブ・ミュージック」シスター・ソフィア役、ブリギッタ役で出演。宗教曲ではW.A.モーツァルト「ミサ・ブレヴィス」アルトソロを務める。2016年5月すみだオペラ「椿姫」にフローラ役で出演予定。これまでに声楽を中山文雄、永田直美、故エレナ・オブラスツォワの各氏に師事。二期会準会員、東京室内歌劇場会員。



テノール 工藤 和真

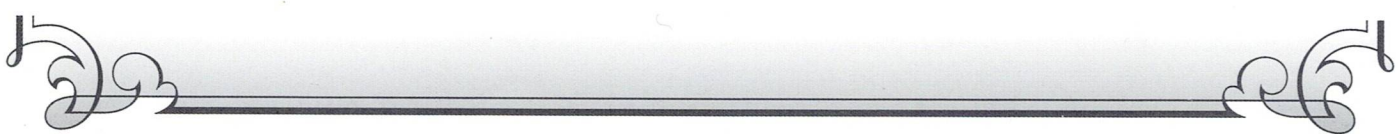
岩手県出身。15歳の時にクラシック音楽と出会う。東京藝術大学卒業。同大学院独唱科修了。声楽を小原一穂、佐々木朋也、市原多朗各氏に師事。第84回日本音楽コンクール声楽部門（オペラアリア）第2位。市川市文化振興財団主催第28回新人演奏家コンクールにて優秀賞を獲得。第62回全日本学生音楽コンクール声楽部門高校の部全国大会3位。岩手県矢巾町田園ホール20周年記念第九コンサートにてテノールソリストとして出演。帝国劇場で開催された『レ・ミゼラブル』のどじまん・思い出じまん大会」で優勝（ジャン・バルジャン役）。テレビ東京「THEカラオケ☆バトル」での出演や、洋楽を中心としたライブを行うなどクラシック以外にも幅広いジャンルで活動する。

ケ☆バトル」での出演や、洋楽を中心としたライブを行うなどクラシック以外にも幅広いジャンルで活動する。



バリトン 深瀬 廉

- 2006年 第60回学生音楽コンクール声楽の部高校生部門  
全国大会1位
- 2007年 第79回高校選抜野球大会 甲子園球場にて国歌斉唱
- 2011年 東京藝術大学学部卒業時に松田トシ賞、同声会賞、アカンサス音楽賞を受賞  
第81回読売新人演奏会出演
- 2012年 第23回友愛ドイツ歌曲コンクール第3位、日本 R.シュトラウス協会賞受賞
- 2015年 武藤舞奨学金を受け、Staatliche Hochschule für Musik und Darstellende Kunst Stuttgartを修了
- 2015年 第28回市川市新人演奏家コンクール最優秀賞
- 現在 東京藝術大学大学院修士課程に在籍中



# 市川・第九 市民合唱団

団長 長谷川 康啓

副団長 酒井 玄枝

## ソプラノ

◆パートリーダー

秋山 晃子	安藤 康子	池田 伸子	池田 晴美	岩澤 和子
大久保 節子	大島 信子	大谷 裕香	小川 真由美	◆沖本 正子
神家満 美子	川又 京子	菊地 諄子	木附 利枝子	小暮 訓子
今藤 友香	近藤 瑠美	酒井 玄枝	坂元 玲子	佐々木 彌生
佐山 亜希子	庄司 恵理子	鈴木 恵美子	瀧口 三津子	瀧本 敦子
田村 裕子	塚越 寿美子	塚越 憲子	鶴岡 房江	徳永 京子
豊島 好恵	長尾 はずき	中島 幸子	中島 広子	中嶋 みゆき
中西 智子	長沼 よし美	永野 眞弓	並木 美智子	平山 ゆかり
福満 憲子	藤原 千恵子	松木 真理子	松波 圭子	丸山 美千代
宮崎 由紀子	吉井 正子	吉岡 あかね	渡辺 真すみ	渡辺 裕子

## アルト

安藤 よしみ	伊藤 美知子	海野 真弓	大島 まり子	岡田 江身子
片平 恵子	金井 恵子	金 永夏	木村 美由紀	木村 靖子
熊谷 良子	小林 美江子	酒井 千賀子	篠田 妙子	澁谷 由美子
庄田 則子	◆高橋 みどり	瀧本 千津子	田中 千鶴子	鶴田 靖子
徳安 祥子	富岡 弥生	富山 智恵	長澤 みさほ	新美 玲子
橋爪 欣子	橋爪 英子	長谷川 友子	堀江 智恵美	増田 洋子
松本 百合子	丸山 亜美	水上 節子	宮内 保子	宮下 千恵子
武藤 あゆみ	武藤 千恵子	武藤 美穂	村瀬 恵子	山崎 照子
吉田 裕子	渡辺 恵子			

## テノール

岡野 嘉久	金田 輝夫	川喜田 大亮	木村  劼	木村 宣夫
宍倉  皓	◆篠田 要衛	柴田 秀一	田口  實	竹田 悦治
土谷 幸司	土濱 正行	中沢 茂雄	甫本 祐二	村瀬  徹
森島  敏	矢部 廣志			

## バス

阿部  晃	安藤  博	石郷岡 重光	宇賀神 年男	大崎 豊太郎
大島 雅之	岡田 秀樹	岡本 慎一	小田金 文雄	加形  護
木田  豊	紺野 晃則	佐々木 龍也	谷口 四郎	常松 文彦
長谷川 康啓	平井 善樹	◆古畑  功	堀  光昭	宮内 昌文
宮内 良司	宮村 忠司	山下  洋	吉田 敏英	吉田 信男
吉武 千春				

(50音順)



# 市川交響楽団

昭和26年（1951）に初代理事長村上正治先生が「クラシック音楽の喜びをより多くの人に伝えたい」という信念のもと創立され、アマチュアとしては全国有数の伝統を持つ音楽団体で通称「市響」（いちきょう）と呼ばれている。千葉県市川市を本拠地に演奏活動を行い、平成28年（2016）



に創立65周年を迎える。市川市芸術祭参加の定期演奏会を中心に全国各地での文化行事やオーケストラフェスティバルに多数のメンバーが参加し合同演奏と音楽文化交流を行っている。定期演奏会では著名な指揮者、音楽家との共演を数多く経験しているほか、地元ゆかりの音楽家との共演にも力を注ぎ地域音楽文化の振興に多大な貢献を行っている。市川交響楽団協会は“クラシック音楽をより多くの市民に楽しんでもらおう”をモットーに創立以来のすべての主催演奏会を入場無料で行い、常に積極的な活動を展開している。

市響ホームページ <http://ichikyo.org>

## 【コンサートミストレス】 上田 佳津子

### 【第1ヴァイオリン】

石崎 俊信	石本 恵理	大橋 一郎	大橋 かおる	鎌田 真貴
時田 枝里子	秦 一宜	早川 貴子	久田 しげ子	溝田 範子
三野 彰久	渡辺 綱介			

### 【第2ヴァイオリン】

岩田 徳子	亀井 玲子	佐分利 幸江	滝澤 葉子	富田 八江子
中野 さゆり	羽深 理絵	番場 美帆	日向 史明	武藤 敦子
武藤 真祐子	村上 葉子	吉岡 一郎		

### 【ヴィオラ】

内田 綾美	小名 康仁	鈴木 亜矢子	谷口 善樹	奈良林 弘子
星 乗昭	本郷 尚子	若林 繁		

### 【チェロ】

安部 博秀	倉澤 倫子	猿田 麻理	猿田 諒介	中村 公一
中元 悦治	濱田 文宏	林 恭代	日澤 優	平得 裕子
福原 耕二				

### 【コントラバス】

池田 和正	上村 啓介	神代 順子	高間 友明	高柳 互宏
番場 仙嘉	村上 信乃			

### 【フルート】

遊馬 陽子	木村 真諭紀	番場 ますみ
-------	--------	--------

### 【オーボエ】

高橋 みさ	二村 直子
-------	-------

### 【クラリネット】

秋永 直美	八木 良子
-------	-------

### 【ファゴット】

遠藤 由紀子	金坂 哲	増子 恭一	山内 静
--------	------	-------	------

### 【ホルン】

嶋村 恒夫	武井 綾香	鳥山 雅史	林田 朋子
-------	-------	-------	-------

### 【トランペット】

関 良馬	十川 雅彦	田崎 真二
------	-------	-------

### 【トロンボーン】

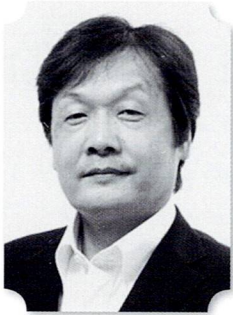
石黒 弘道	坂田 圭	吉川 昌憲
-------	------	-------

### 【打楽器】

大澤 香奈	篠崎 美奈子	都筑 裕	和田 英恵
-------	--------	------	-------



合唱指導 <sup>やぶ にし まさ みち</sup> 藪西正道

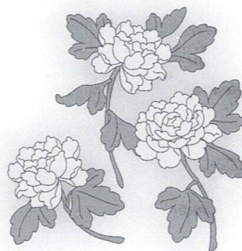


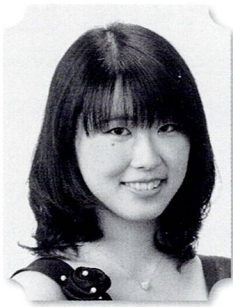
東京藝術大学声楽科卒、同大学院オペラ科修士課程終了。イタリアに留学。イタリア・テルニ国際声楽コンクール優勝。フィレンツェ歌劇場新人オーディション第2位。オペラ「ドン・ジョヴァンニ」、「椿姫」、「蝶々夫人」、「ボエーム」、團伊玖磨指揮による「夕鶴」、「フィガロの結婚」、「セヴィリヤの理髪師」などレパートリーは60役を超える。2009年4月「カヴァレリア・ルスティカーナ」で演出デビューを飾る。劇場空間を最大限活かしたと好評を得、演出の方面でも才能を発揮させる。2011年12月 平成23年度 文化庁優れた劇場・音楽堂からの創造発信事業の一環で、(財)石川県音楽文化振興事業団 石川県立音楽堂オーケストラ・アンサンブル金沢 第312回定期公演オペラ「ヘンゼルとグレーテル」の演出、子供と大人と一緒に楽しむオペラ「小さな魔笛」、「フィガロの結婚」「ドン・ジョヴァンニ」等を演出する。二期会会員、平成七年度文化庁インターンシップ研修生、日本演奏連盟会員。2009年まで東京藝術大学・武蔵野音楽大学等で務める。クオーレ・ド・オペラ実行委員。東京二期会オペラ研究所講師。

合唱指導 <sup>にし の かおる</sup> 西野 薫



東京藝術大学卒、同大学院修士課程修了後、イタリアに留学。読売新人演奏会出演。NHK新人洋楽オーディション合格、日本モーツァルト音楽コンクール第1位。日本声楽コンクール第2位及び田中路子賞受賞。奏楽堂日本歌曲コンクール第2位。藝大在学中から天性の美声と音楽性は際立っており、大学院在籍中よりオペラ『こうもり』のアデーレに抜擢された後、藝大100周年特別記念公演『オルフェオ』、二期会公演『ドン・ジョヴァンニ』、『コシ・ファン・トゥッテ』、『シンデレラ』、新国立劇場公演『ヘンゼルとグレーテル』、東京藝術大学新奏楽堂オープニング記念公演『魔笛』等に出演。一方コンサートもチェコフィルほか国内外のオーケストラとも数多く共演する。イタリアオペラ黄金期のバリトン“ジュゼッペ・タッデイ”ともジョイントコンサートを行う。NHK FM「名曲リサイタル」、NHK BS他、指揮者の大町陽一郎氏とヨハン・シュトラウス世界大会にソリストとして出演する他、九州交響楽団のニューイヤーコンサートのツアーを長きにわたり行う。現在、二期会会員 2003年市川市民文化奨励賞受賞 NPOムジカ・フレスカ理事、クオーレ・ド・オペラ実行委員、ケイ・アーツ・オフィス主宰。





ピアニスト <sup>やま なか ま りん</sup> 山中麻鈴

兵庫県出身。幼少の頃よりヤマハ音楽教室で学ぶ。2011年、ショパン国際ピアノコンクール in ASIAアジア大会入賞。これまでにフィガロの結婚、ドン・ジョヴァンニ、ヘンゼルとグレーテル、椿姫、クオーレ・ド・オペラのプロジェクトでは蝶々夫人を弾き好評を得る。兵庫県立西宮高校音楽科を卒業後、現在東京藝術大学音楽学部作曲科3年生。



ピアニスト <sup>さわ むら きょう た ろう</sup> 澤村杏太郎

千葉県出身。県立東葛飾高校を経て、東京藝術大学指揮科3年に在籍。今までに指揮を三河正典、高関健、山下一史の各氏に師事。多くのアマチュアオーケストラを指揮する傍ら、オペラでは「椿姫」「ドン・ジョヴァンニ」「魔笛」「ジャンニ・スキッキ」などの公演の正指揮を務める。また、合唱などの伴奏ピアニストとしても活動中。ハルモニアオーケストラ常任指揮者。



ピアニスト <sup>とよ だ はな こ</sup> 豊田華子

千葉県出身。フェリス女学院大学音楽学部器楽科卒業。読売新人演奏会出演。2001年渡欧。プライナー音楽院（ウィーン）にてW.ムーア、M.チェンチチ各氏に師事。最優秀の成績でコレペティ科を卒業後、同音楽院のオペラ科、声楽科コレペティとして勤務。2011年帰国を期に現在伴奏者として幅広く活躍している。



司会 <sup>しば た しゅう いち</sup> 柴田秀一

1981年4月、(株)東京放送入社。アナウンス室配属。現・TBSテレビ編成本部編成局アナウンス部 スペシャリスト局次長。入社以来、報道畑でニュースショーの司会やニュース読み、朝・昼・夜の定時ニュースを担当。朝の情報番組（「ザ・フレッシュ」、「みのもんたの朝ズバ！」）、午後のワイド番組（「もぎたてサラダ」「ジャスト」）、夜の情報番組（情熱ワイド！「ブロードキャスター」）等の司会リポートも経験。1987年からの「テレレポートTBS6」では、中継・リポート・ニュース読みに加え、「事件簿」を中心とする特集の制作も行い、記者・ディレク

ター業務も経験した。現在は、ニュース担当アナウンサーのまとめ役と、TBSの放送で使う言葉を決める「TBS用語委員会」幹事、新聞協会の「用語懇談会」委員。

市川市と公益財団法人市川市文化振興財団が市民文化サポーターの育成を目指し開講した第1期「市川の文化芸術市民案内人養成講座」を受講、市民文化サポーターライセンスを取得。

ベートーヴェン／交響曲第9番ニ短調 作品125「合唱付き」

O Freunde, nicht diese Töne!  
Sondern laßt uns angenehmere  
anstimmen, und freudenvollere!  
(上記の3行はベートーヴェンの作詩です)

Freude, schöner Götterfunken,  
Tochter aus Elysium,  
Wir betreten feuertrunken,  
Himmlische, dein Heiligtum!  
Deine Zauber binden wieder,  
was die Mode streng geteilt,  
alle Menschen werden Brüder,  
wo dein sanfter Flügel weilt.

Wem der große Wulf gelungen,  
eines Freundes Freund zu sein,  
Wer ein holdes Weib errungen,  
mische seinen Jubel ein!  
Ja, wer auch nur eine Seele  
sein nennt auf dem Erdenrund!  
Und wer's nie gekonnt, der stehle  
Weinend sich aus diesem Bund!

Freude trinken alle Wesen  
an den Brüsten der Natur;  
alle Guten, alle Bösen  
folgen ihrer Rosenspur.  
Küsse gab sie uns und Reben,  
einen Freund, geprüft im Tod;  
Wollust ward dem Wurm gegeben,  
Und der Cherub steht vor Gott!

Froh, wie seine Sonnen, fliegen  
durch des Himmels prächt'gen Plan,  
laufet, Brüder, eure Bahn,  
freudig, wie ein Held zum Siegen!

Seid umschlungen, Millionen!  
Diesen Kuß der ganzen Welt!  
Brüder! überm Sternenzelt  
muß ein lieber Vater wohnen

Ihr stürzt nieder, Millionen?  
Ahnest du den Schöpfer, Welt?  
Such'ihn überm Sternenzelt!  
Über Sternen muß er wohnen.

おお 友よ、このような音ではなく  
もっと快い喜びに  
満ちて歌おう！

歓喜よ、美しい神々のような輝き、  
楽園の美しい乙女たちよ！  
われらは情熱に酔いしれて  
崇高な汝の聖なる場所に踏み入ろう！  
この世の時流が厳しくも、  
あなたの魔力が引き離れたものを再び結びつける。  
汝のやわらかい翼のもので、  
すべての人々は兄弟となる。

躍動する生命力をわがものとなし得た者は、  
ひとりの友の友とならん。  
優しい妻をめぐった人は、  
歓喜の声を合わせよう！  
そうだ、たとえ地球上で  
ただ1つの心だけを自分のものとするのができた人も！  
そして何も出来なかった人、  
その人はこの集いから涙を流しながら立ち去れ！

全ての人は歓喜を  
自然の胸から飲む。  
すべての善き人、すべての悪しき人は  
薔薇の小径を辿る。  
自然は我々に口づけと葡萄の房を、  
そして死の試練を受けた1人の友を与えた。  
虫けらにも快楽が与えられ、  
そして天使は神の前に立つ！

喜べ、汝たちの太陽が天空を駆けるが如く  
壮麗なる天の軌道をわたるが如く、  
兄弟よ、汝の道を、  
勝利を得た勇士のように喜び走れよ！

人々よ、ともに抱き合え！  
汝のくちづけを、全世界に！  
兄弟よ！星の座に  
愛する父が住まっているに違いない。

人々よ、汝らはひれ伏すか？  
世界よ、汝は創造主性の存在を予感するか？  
創造主を星の座に求めよう！  
彼は星たちのところにいるはずだから。

編訳：小坂裕子（市川市文化振興財団 アートディレクター）